

答 申

令和元年 1 2 月 6 日

千葉県ナイトタイムエコノミー推進審議会

今、我が国は、人口減少や少子超高齢化の進展など、社会構造の大きな転換期に直面しております。

そのような中、「ナイトタイムエコノミー」については、来年に迫った東京2020オリンピック・パラリンピックの開催も踏まえ、外国人観光客増加を契機とした、「新たな観光コンテンツ」としての「健全な夜間市場」創出の動きや、先進自治体における様々な取組みが始まっているところであると認識しており、千葉市において、民間事業者が主体となった、新たなナイトコンテンツの創出を行う動きについては、高く評価するものです。

当審議会においては、平成31年4月19日に開催した、第1回審議会にて、支援制度に係る募集要項や審査要領等、募集内容や審査基準について審議をいたしました。

審議内容を反映した募集要領等に基づき、令和元年5月15日から6月28日までの公募を行い、応募のあった6案件につきまして、市からの諮問に基づき、令和元年7月19日に第2回審議会を開催し、書面審査のほか、事業者からのプレゼンテーション及び質疑応答を行い、慎重に審査を行った結果、全件支援するべきであると判断しました。

平成31年度千葉市ナイトタイムエコノミー推進支援事業の一つとして、令和元年8月31日に開催された、昭和の森大花火大会2019の実績報告につきまして、市からの諮問に基づき、令和元年11月5日に実績報告を検討した結果、拡充部分である竹灯籠を使った演出を実施するなど、概ね計画通り実施されたものと認められ、報告された精算額を補助金の確定額とすることが妥当であるものと判断しました。

今回、平成31年度千葉市ナイトタイムエコノミー推進支援事業の一つとして、令和元年10月5日に開催された、千葉みなとイベント「アロハ ホノちば」の実績報告につきまして、市からの諮問に基づき、令和元年11月15日に実績の書面確認及び市を通じた事業者のヒアリングを行いました。

実績報告を検討した結果、概ね計画通り実施されたものと認められます。

当日の天候が良かったこともあり、夕暮れから夜にかけての海の前でのフラスタージが、ハワイを感じさせるものであり、エリアの雰囲気向上に大きく寄与したことは非常に有意義であると考えております。

横浜で大きなハワイイベントが同日に開催されたこと、開催一週間前から当日は悪天候との予報があったことなどが原因で、残念ながら、事業収入（出店料）と参加者数が計画対比で未達となりましたが、一定の集客があり、参加者や来場者からのロケーションに対する評判が良かったことなどから、今回の支援により新たな夜間のにぎわいの創出や魅力的な景観演出ができたものと認められます。

また、次年度は天候や他のイベントを勘案した、事業実施を計画している点や、周辺施設や店舗、ホテルなどとの連携をさらに強化していき、事業外収入（協賛金等）の増加を図っていく点を評価しています。

従って、新規イベントであること及び事業費規模対比、相応の集客が実現されたことなども考慮し、次年度は事業収入（出店料）や事業外収入（協賛金等）を増加させ、同規模以上のナイトフライイベントを開催することを条件に、補助金交付決定額を減額せず支払うべきであるものと判断しております。

なお、実績報告における補助金精算額は、補助金交付決定額と同額であり、収支決算に不備もないことから、報告された精算額を補助金の確定額とすることが妥当であるものと判断しております。

また、実績報告の検討及びヒアリングの際に出されました、委員からの意見や要望について、事業者がそのような意見や要望等を活かし、次年度により良いナイトコンテンツを実施することにより、地域経済活性化や千葉市における夜の都市景観造りに資するものとなることを希望します。

別表 千葉みなとフライイベント「アロハ ホノちば」の計画と実績について

		計画		実績			
1	ターゲット	市内、県内で活動するハワイアンフラ愛好家・観覧希望者 市内、県内在住のハワイや南国の雰囲気を楽しむ一般来場者		計画通り実施			
2	運営体制	主催：株式会社感動舎 協力予定：フラコミュニティちば 後援予定：千葉市、株式会社ベイエフエム		計画通り実施			
3	事業内容	【日時】10月5日（土）14:00～20:00		計画通り実施			
		【場所】千葉市中央区中央港1丁目地内の港湾用地（緑地・ふ頭）及び公園緑地用地 (参考) https://www.city.chiba.jp/toshi/umibe/ksharbor.html		計画通り実施			
		【メインコンテンツ】ハワイアンステージ+物販・飲食 例年、千葉市中心市街地の中央公園で行われていたイベントを、千葉みなとエリアに場所を移し開催。 ・ハウラステージ：千葉県内に教室を持つハワイアンフラ教室（ハウラ）によるステージ発表 ・メレフラステージ：イベント終盤に行う飛び入りステージ ※本来ストイックな舞踏であるフラにおいてメレフラは歴史認識や衣装や流派に関係なく踊りを楽しむカタルシスの場でもあることから熱心な愛好家ほど楽しみにしている。 ・物販スペース：来訪者が楽しめるようハワイアングッズ、南国系に特化したショップスペース ・ケータリングカー：ケータリングカーなど飲食ブース		計画通り実施			
4	収支	収入	事業収入 500千円	事業費における割合 50%	245千円	事業費における割合 22%	
			事業外収入 0千円	事業費における割合 0%	0千円	事業費における割合 0%	
		支出	ソフト事業	補助金額 267千円	補助対象経費 535千円	補助金額 230千円	補助対象経費 460千円
			ハード事業	補助金額 232千円	補助対象経費 465千円	補助金額 269千円	補助対象経費 570千円
			対象外経費	0千円		100千円（消費税等）	
合計	補助合計金額 499千円	事業費合計 1,000千円	補助合計金額 499千円	事業費合計 1,132千円			
5	来場者数	参加者関係者・一般来場者含め 2,300名程度		参加者関係者・一般来場者含め 1,500名程度			
6	経済効果及び事業効果	約280万円 ・当日購買 参加見込み 300名×50%×5,000円=750,000円（当日飲食・物販） ・当日購買 一般見込み 2,000名×30%×2,000円=1,200,000円（当日飲食・物販） ・事前飲食 参加見込み 300名×80%×1,000円=240,000円（会場下見時など） ・事後飲食 参加見込み 300名×90%×2,000円=540,000円（反省会実施など）		約180万円 ・当日購買 参加見込み 200名×50%×5,000円=500,000円（当日飲食・物販） ・当日購買 一般見込み 1,300名×30%×2,000円=780,000円（当日飲食・物販） ・事前飲食 参加見込み 200名×80%×1,000円=160,000円（会場下見時など） ・事後飲食 参加見込み 200名×90%×2,000円=360,000円（反省会実施など） ・女性比率が高いコンテンツである「フラ」に特化したことで参加者の縁故に限らず、周辺地域の女性や家族連れが集客に繋がった。 ・横浜で大きなハワイアンイベントが同日に開催されたこと、及び開催一週間前から当日は悪天候との予報があったため、計画より事業収入（出店料）が減少した。 ・日中（14:00）からの開催であったため、夕暮れから夜にかけても多くの方が来場し、周辺施設や店舗への来場者の送客（地域への波及効果）に繋がった。			
7	景観演出方法	・会場インフラ（港湾施設、ウッドデッキ、芝生）を活用した会場設営 ・照明、松明などの演出 薄暮の時間から終盤、メレフラタイムに向けて照明、松明などをセットして、夜間の盛り上がり演出。		計画通り実施			
8	スケジュール	令和元年7月1日（月）から着手開始 令和元年10月5日（土）14:00～20:00開催		計画通り実施			
9	次年度以降	・令和2年5月開催予定。 ・夜間の海辺がさらに心地よく感じられる5月に開催予定。 ・今年度の実施後の課題を踏まえ、次年度は収益のみで実施できるよう調整する。 ・将来的には2日間開催など千葉みなとエリアの風物詩になるよう開催予定。		・来年度は、天候の影響を受けにくい時期（5月～6月）の実施に向け、地域団体との調整などの準備を開始。 ・併せて、周辺施設及び店舗との連携による協賛や事業外収入の増加に努めていき、毎年開催することを計画している。			
10	プロモーション	・ベイエフエム告知（事業後援依頼によりFMラジオによる告知など） ・参加団体経由の告知（参加団体へのチラシ配布） ・フラコミュニティちば経由の告知（県内約100団体のフラ教室へのチラシ配布） ・SNS、フリーペーパーなどの活用		計画通り実施			